

水魚の交わり

sakura no uta
unofficial fanbook
kei × naoya



— 成人向け —

R18

ADULT ONLY

18歳未満
購入・閲覧禁止



水魚の交わり

sakura no uta
unofficial fanbook
kei × naoya



— 成人向け —
R18
ADULT ONLY
18歳未満
購入・閲覧禁止



・解釈をすっ飛ばして描きました。
頭を空っぽにして読める人向けです。

・これは非公式同人誌です。原作及び版權元様とは
一切関係ありません。

・転載、フリマ等への出品を禁じます。

美術部 Welcome to

美術部だぞ！

入ればいいと
思う

わはは！
もう配り
終わるぞ！

直哉は？

俺も
もう終わる…

というかと
近寄るなど
言ってるだろ
キモイ

これ以上
ベタベタする
なら絶交する

うわあ
ひどいっ

首尾は上々
みたいね



そいやあ…
今日の圭は
一段と仕上がって
いるわね…

ちよっと
げって何よ

ビラ100枚
追加するわよ

あびやびやあ…
すまないのでした

げ



見なさい、
集客効果も
バツグンよ！

さすがは
幻のミス弓張
だわね

客つーか
ただのカメコだろ

まあこれだけ
可愛いものだから
納得だが…



なんだよ！
キモイキモイって
言ってたくせに

え？何お前、
キモイって
言われたいの？
このドマゾが…

ほか

ほか

ほか

ほか

ほか

ほか

ほか

違うわ！
俺はキモくも
可愛くもないの！

いいえ圭…
あなたは今
世界一かわいいわ

何せこの私が
仕立てたのだから！

草薙だって
そう思うでしょう？

うううううう





腐れ縁であり、
親友であり、



ライバル――



圭



なんか感傷的にな
ってしまっ
た

今日の晩飯の
献立でも
考えよう……



ただいま
直哉――





これにはな？
ふかーいわけが
あつてだな……

ん

ようやく
うちに帰れるぞ！

ヴェスパが俺を
呼んでいるっ

直哉より先に
帰ってやるんだから

なっ

きやあ！
ごめんなさい！

大丈夫ですか

ああ……

俺は大丈夫
だけどっ

気をつけるん
だぞ！

えっ？

くっくっ



なんて運の
ないやつだ…

まあ…事情は
わかったが…

なんでそれ
着けてんの？

べつに
服変える
だけでいい



あっ…
ついクセで

本当に恥ずかしい
奴だなお前は…

なんで俺は
こんな恥ずかしい
奴と同居してるん
だろう…

そうだよ
すんげえ恥ずかし
かったんだよっつ

もうバイク乗ってて
スースーするの
なんのって

もう俺
お嫁に行けないぞお

うわー
うわー



合ってるんじや
ないか？嫁で

「そこは婿だろ」
ってツツコミ待ち
だったんだぞ直哉？

そうだ！
明日からは直哉が
これを着たら
いいんじゃない？

お前はともかく
俺が着たところで
何になるんだよ…

だって
直哉ってば何着ても
なんかハマるじゃん

いやいや
お前より似合う奴は
男でも女でも
いないから…



しかし…

メイド服で
俺の部屋に
居られると…



どうしたんだよ？
直哉？

そんなに見つめちゃうてさあ

い何い
るをや
んだ考
俺えい
はてや
：
：

キモイ

かーっ！
まうたそういう
事を言いますか
直哉くんは？

俺の男らしい顔の
どこが不満なんだよ

その身なりで
言われても……

だいたいすね毛も
生えてないヤツが
男らしさを語るな

どうせ下の毛も
生えてない
くせに……

これから
生えるんだぞ！
もう全身ボーボーに
なるんだぞ

それはそれで
どうかと思うが？

「とうとうか、直哉は
 そうなんだよ!？」

は？

そこまで言うなら
さぞ男らしいモノを
持っているの难道？

直哉！

見せろよっ
見せてみるっ

はあああ？？

直哉のおちんちんを
見るまでどかない
からな

バカっ近寄るな
ヘンタイ！

このっ

ギン
ん
す

何すんだよ！
痛いじゃないかっ

アホっ

てめーで
転んだんだろが！



うおおおお

直哉……
勃起してる
じゃないか!?

「圭、かっこいい……」
とか思っ
て、むらむらっ
と来た
感じか!?

なあ?
おい!

ぎゃんっ

ドカッ

何興奮
バしてんだよ!

え?
興奮してるのは
直哉でしょ?

こ……これは!
何かの間違いだ!!

お前なんぞに
欲情するとか
ありえないし!

そうだっ……
疲れマラとか
だっつ!

俺は!
疲れてるんだよ

疲れ?とか
なんとかな
よくわかんない
けど……

これは
いい機会だぞ!

直哉の
勃起ちゃんこを
この目に
焼き付けてやる!

そんなもの
焼き付けなくて
いいから……

っつて
脱がすな!

バカっ

やめ……

わっ



なんだこれ…?

これが
直哉の…?

俺のと全然
違うぞ…

なっ

なぜ抵抗
できないんだ
俺はあ…

こんなのもう
凶器じゃないか?

かつこいいい…

かつこいいいぞ
直哉あ…

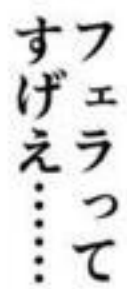


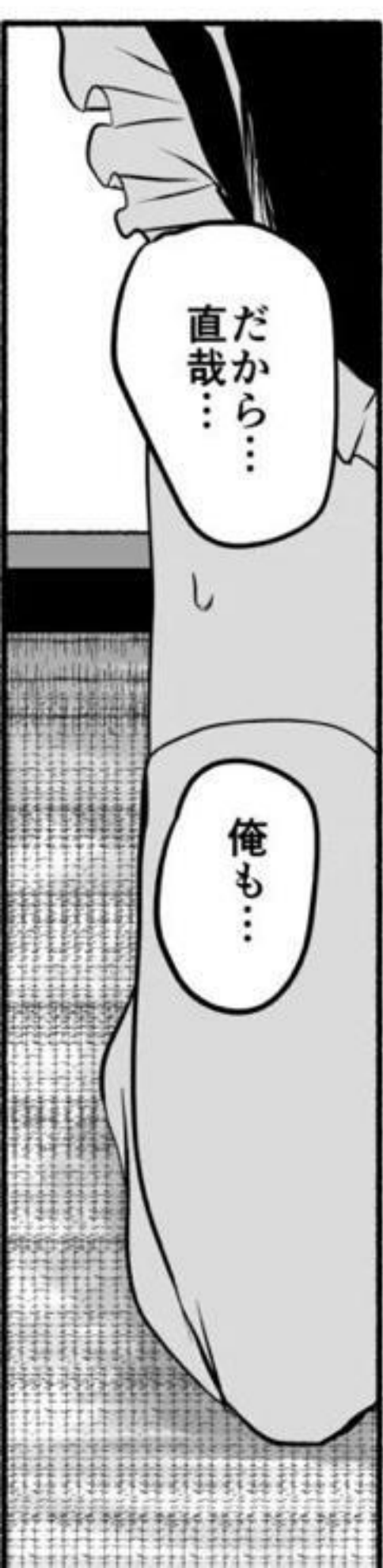
すごい…
おちんちん打つ
ものなんだ

こんなとこまで
おつきくて
かつこいいとかさ

ほんと直哉は
ずるいぞ…







お：おれの
おちんちんも

はあ...

なんか
変になつて
きちゃった...

はあ...

はあ...

その：直哉の：

はあ...

は？

はあ...

直哉のおちんちん...
くわえてたら
どんどんおつきく
なつていつてつ

はあ...

はあ...

ど...
どうしよう？

俺：こんな...
初めてでっ

ム...

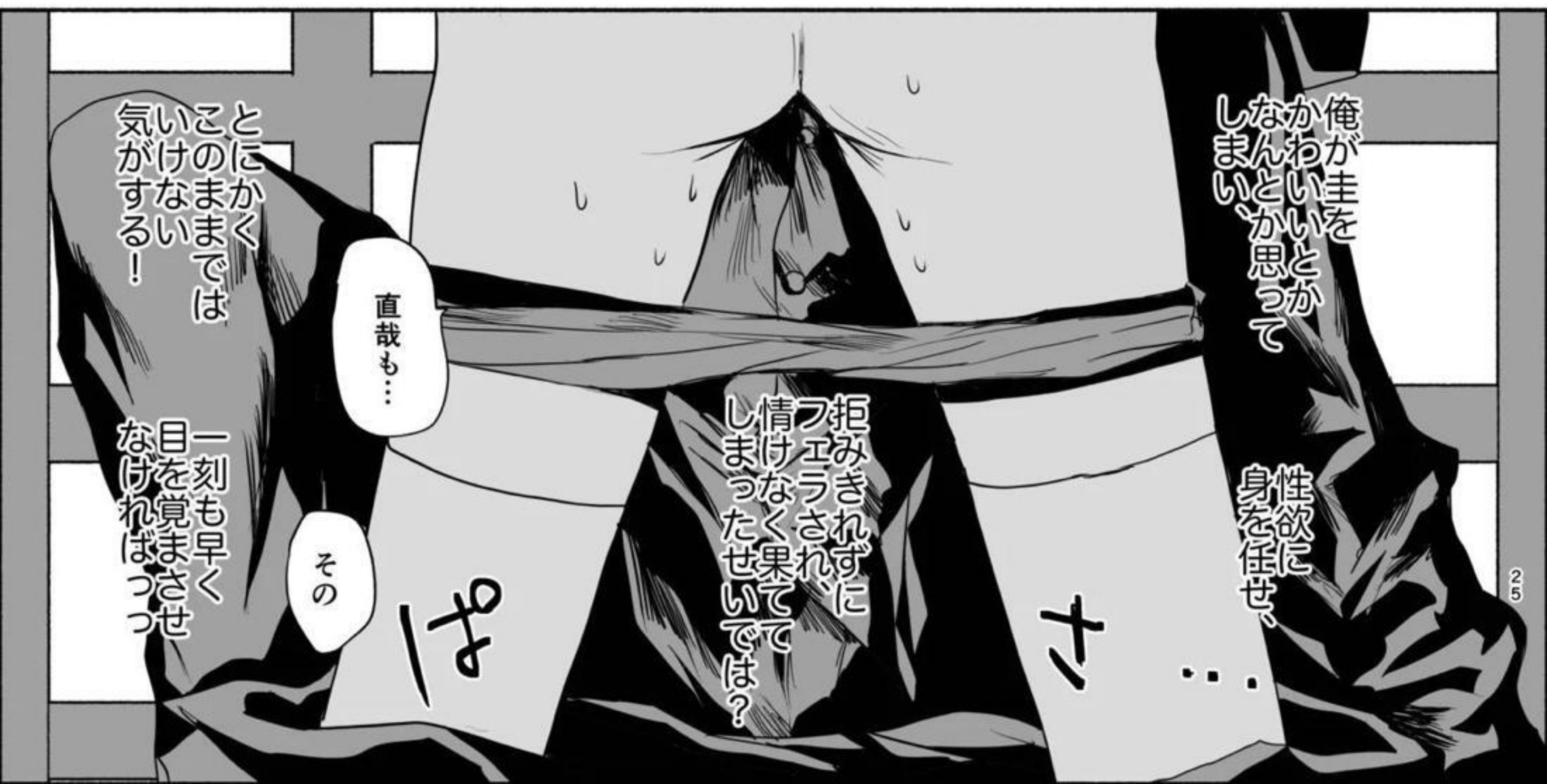
は...

あううっ...
なおやあ
どうしようっ

はあ...

はあ...

は？





なければ...

舐めて

くれないかなあ...
とか...

直哉っ

なに...何を言ってる

ざ

俺はお前と違って
ちんこしゃぶりたい
とか思わん!

大体そんな
貧相なモノ...

でっ...でも!
俺だけ舐めて
直哉が舐めないのは

不公平だと
おもうのだけど

それは!
お前が勝手に...

正直

出す時は
言えよ...

俺はお前のなんか
飲みたくない
からな...

思いついた
しまった

はあ... はあ... あったかくて つはあつ おちんちんっ きもちいいよお

ぴりぴり するよお

はあ... はあ...

はあ... はあ...

直哉の手がっ

あの絵画達を
生み出した
草薙直哉の
手がっ

俺のおちんちんを
さわってるよおっ。

直哉が握るべきなのは
俺のおちんちんじゃ
なくて筆なのに……

普段から
だが……

いつにも増して
女みtainな声
出しやがって……っ

その声で
俺の名前を
呼ぶなっ……！

すごいよお
なおやっ

なおよあ
すごいっ

ああっ

なっ……!
直哉!?

こうすれば
同時にできる
だろ

いっ……
いいんだよ!!

はた

はた

俺は今
出したから
いいのっ

はた

はた

はた

ほらほら
手と口が
止まってるぞ。

さっきまでの
威勢はどうした?

まさかもう
終わりか?

お前は
その程度
なのか?

なあ!?

ひっ

ひゅっ

あっあっ
あううう









なんか
気になるが…

それじゃあ
私は夕飯の
準備をするぞ

そうだ
何か欲しいもの
ないか？

とっ
特にな…

直哉!?
どうした!?

ん
ひひひひひ

そ…
そうだった

買っ
行っ
ついでに
物に
く
れ
ない
か

あっ！

ぶっ…

豚肉がっ

確
かな…

すんごう…

俺のおちんちんと
直哉のおちんちん
があっしよに…

無いからあつ





直哉——



そうだよ直哉

俺はずっと
そうだった

お前を見つけて
お前に出会って



お前に
追いつくために
全てを捨てて

お前の事を
ひたすら
考えて——



そんな俺が

性的興奮を
覚えてしまつと
すれば——

後にも先にも
お前だけだろう——

直哉

直哉

俺は



嫌じゃないんだよな？

わかるよ…
嫌だったなら
直哉は、

とっくに
俺を殴り
飛ばしている
はずだもの…

そうだよな？

うっ…
け…

圭

やめ

直哉 あっ

はっ…
すっ…
あっ…

ちゅっ…

なにこれえ

あっ

あついよお

すっ…
ちゅっ…

すっ…

直哉の中に
入っちゃった…

なおやあっ



直哉のおちんちんも
さわって
あげれば
いいんだっ

そうだった

これで
痛くなくなる
はずだぞっ



すごいっ
おしりが
きゅうきゅう
してきたぞお



はあっ
おやあっ
もうだめっ



よっ...
よくなあっ



きもちいいんだなっ
おやあ



ふああっ！
直哉の中に
俺の精液
出しちゃったっ！

でも、
直哉は妊娠
しないし、多分
大丈夫だよな！

ああ…
ああ…



こんな

こんな 直哉あんなに 痛がってたの 間違ってるって…

直哉あんなに 痛がってたの

まだまだ 射精できるん じゃないか！

『幼馴染で親友の男と 一つ屋根の下で 暮らし始めて、なんか 流れで掘られました』

さすがは 俺が認めた 男だった

とか、なんだよ？

なんの冗談だ？

は…
は…
は…

あ、これ 体はしょーじき ってやつじゃ ないか!?

そうだよな？
なおやあ？

しかもこの 親友は じつは ない！

おーい？

直哉？

聞いてるのかっ？
直哉あつ

いーる

ま

だっ…

ま

いーは

ちん…

だめっ

もう…っ

け
ま

俺も直哉ぐらい
大きかったらっ
もうちよいらっ
行けたのかなっ

さっきよりもっ
動きやすくてっ
奥までえ…

お

お

お

お

い

くそっ

お前がっ

お前があつ

お前が圭じや

夏目圭じや
なければっ

なんだよそれ？
俺が俺で
なにが悪いっ！

俺は圭だっ！

夏目圭
だっ！

えいつ
えいつ♡

お

い

い

い



圭……

もしかして

もしかすると

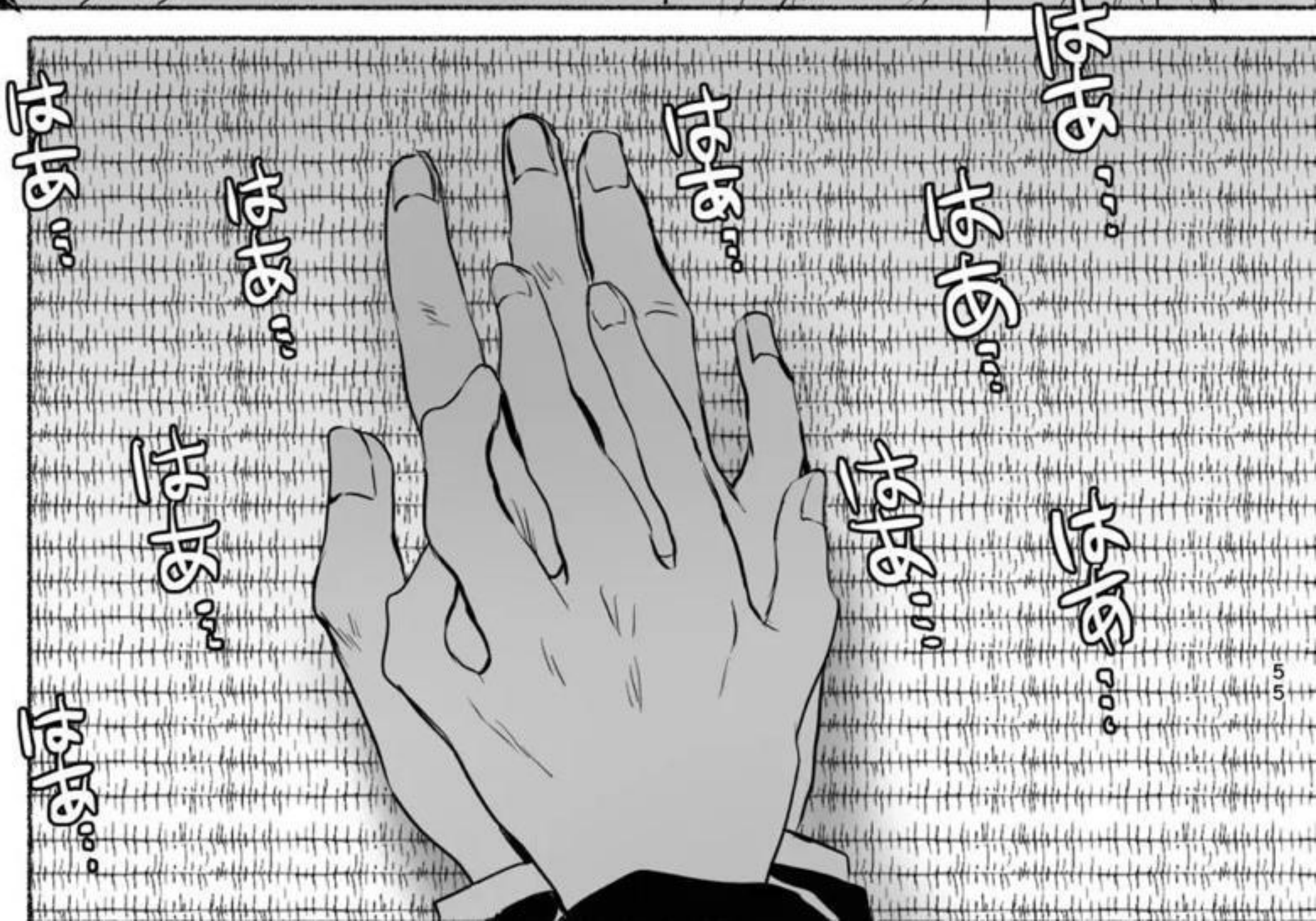
お前と

過ぎすつちに

俺は……？

直哉





その日の晩飯は
幸か不幸か――

味が
しなかった――



ええっ！
休んじゃうのか？
直哉あ

俺は寂しいぞ…



なぜ普通で

いられ
るの？



や…
俺はもう
大丈夫だ…
行くよ

心配かけて
すまない…

まあ
お前がそういうの
なら…



姉貴は
心配しすぎだぞ。

直哉のおしりは
頑丈だからな！



おしり？
なぜそこで
おしりなのですか？
兄さん？

もしや
直哉のおしりを
兄さんが
チヨメチヨメ…

あ…朝から
何を言いだすんだ
零っっ！

まあ…
そうだとっても
私はお前達なら…

応援するぞ？
全面的に…

せんでいいわ！

お前らまだ
ねぼけている
のか？

ありえないだろ。
ちやつちやつと
メシを食え…

そう…
ありえないんだ…

昨日のことは
全て悪い夢だ…

夢なんだ…







今日もさ…

したいなあ

なんて…



ダメかなあ？

直哉あ

「二夜の過ち」とは
こういうことを
言うのだろう

俺は
盛大すぎる過ちを
犯してしまった

なんで
殴るんだよ！

そりや
殴りもするわ！
キモイキモすぎる！

一人で
シコってろや！
バカ！

俺の気も知らずに
このバカはああ

うわん！
もう殴るの
禁止だぞお！